

2017 - 18年度 国際ロータリーのテーマ

『ロータリー：変化をもたらす』

RI会長 イアン H.S ライズリー

川崎北ロータリークラブ会長の方針

『クラブの原点は委員会活動!』

会長 大塚 正一



川崎北ロータリークラブ会報



会長 大塚 正一

幹事 帯谷 昌充

会報委員長 色摩 和恵

事務所：〒211-0063 川崎市中原区小杉町 3-70-4 ホーユウパレス武蔵小杉 104 TEL 044-722-8037 メール：knrc@nifty.com

URL：http://kawasaki-north-rc.blue.coocan.jp/

例会：毎週水曜日 12：30

クイーン・アリス ガーデンテラス日吉

第2795例会 平成30年2月21日(水)

点 鐘

大塚 正一 会長

スマイル体操

相良 久征 親睦委員

司会と斉唱

山川 哲史 会場監督

谷口 一成 ソングリーダー

「それでこそロータリー」

お客様紹介

谷口 一成 親睦委員長

ゲストスピーカー

地区 国際奉仕委員長 (川崎鷺沼 RC)

石塚 勝様

川崎西 RC 都倉 直子様

川崎中原 RC 市川 功一様

出席報告

会員数 58名 出席 34名 欠席 24名

(対象外 7名) 出席率 66.67%

前々回訂正 欠席 31名 MAKE UP 8名

(対象外 12名) 訂正出席率 72.92%

欠席者

花田君	濱田君	平野君	生垣君	入来君
石坂君	小林(政)君	貝田君	小泉君	上山君
三浦君	溝淵君	松山君	峯岸君	松下君
妻鹿君	茂木君	三平君	野口(哲)君	野口(隆)君
重田君	関君	色摩君	藁科君	

会長報告

大塚 正一 会長

1. 地区より、2020～21年度ガバナーノミニ・デジグネット告知・確定宣言が届いております。当地区指名委員会は、神奈川東 RC よりご推薦のありました吉田 隆男 (よしだ たかお) 氏をガバナーノミニ・デジグネットとして指名。本年度、他の候補者の推薦がありませんでしたので、告知と同時に2月13日付にて、同君が国際ロータリー第2590地区2020～21年度ガバナーノミニ・デジグネットに確定しました。
2. 地区より、2018年2月台湾東部地震被災地支援への協力依頼がきています。
3. 第2グループ第5回会長幹事会開催のご案内
日時：2018年3月5日(月) 18：00～
会場：路じ 溝口南口店

幹事報告

帯谷 昌充 幹事

1. 地区からの来信
 - ①クラブ会長エレクト研修セミナー (PETS) 開催のご案内
日時：3月16日(金) 9：30～16：00
会場：メモワールプラザソシア 21
 - ②2018～19年度地区研修・協議会開催のご案内
日時：4月1日(日) 12：30～17：45
会場：聖光学院中学高等学校
2. 他クラブ例会臨時変更
 - 川崎幸 RC
3月2日(金) ⇒ 2月27日(火) IM開催
3月30日(金) 休会
 - 川崎マリーン RC
3月22日(木) 移動例会 家族グルメ会
会場：Alte liebe 点鐘 18：30
3月29日(木) 休会
 - 川崎高津南 RC
3月26日(月) ⇒ 27日(火)
移動例会 お花見例会
4月16日(月) ⇒ 14日(土) 献血運動

委員会報告

社会奉仕委員会 齊木 貴 委員長

東日本大震災復興支援植樹プロジェクトへの寄付、各2,000円をお願いしています。皆様、ご協力お願いいたします。

お客様ご挨拶

市川 功一様 (川崎中原 RC)

川崎中原 RC で協賛している東日本大震災チャリティーコンサートのPRに参りました。ご興味がある方は事務局までお問合せください。
日時：4月17日(火)
会場：川崎国際交流センター

卓話

地区 国際奉仕委員長 石塚 勝様 (川崎鷺沼 RC)

「国際奉仕・ロータリー財団のあれこれ」



1905年2月23日、ポール・ハリスの呼びかけでシカゴにロータリーが誕生します。その頃は、時代背景もあり、気兼ねなく商売の悩みや儲け話を話し合うなど、物質的相互扶助と親睦が目的の社交クラブのようなものだったそうです。その後、ドナルド・カーター

という弁理士から、「自分たちだけが結束していい思いをする、そんな組織が社会に受け入れられるわけがない、人々の尊敬と信頼を得られないような団体には入らない」と入会を断られたことで、創立者ポール・ハリスは深く反省をします。姿勢を改めるから改革役になって欲しいと懇願されたカーターは入会することになります。すると、彼を先頭に地域への社会奉仕活動が取り入れられ、「シカゴの街角の公衆トイレ」が実現します。

「会員間で利益獲得を謳歌していたクラブ」がその賛否論争の中、大きな変わり目が訪れます。シカゴで評判のビジネススクールの経営者、アーサー・F・シェルドンの入会です。あの「最もよく奉仕するもの、最も多く報われる」の提唱者です。「商売というのは、サービス第一で客に最大限に信頼され、喜ばれてリピーターを増やし、その口コミで更なる客を次々と呼び寄せ誠実に働けば、やがて安定した利潤が得られるようになる。社員など取り巻きにもその利潤の一部を還元して、客と同じように満足させてやってこそ繁栄を続けられる。人は自分が幸せだと思えるようになれば恵まれない人たちや社会の役に立ちたいという奉仕の精神が芽生え、みんながよい社会に向かえるのだ」と彼は熱く語り続けました。すると、これに賛同する人たちが続々と会員になり、所謂「紳士（後に淑女も）の集まり」というロータリーの基盤が構築され、シカゴから広がり、やがてアメリカ本土から世界各地に広がっていきます。

1910年頃になると、海外にもクラブが増えていき、親交が深まり、交流が広まっていきます。言語はもちろんのこと、考えかた、習慣、宗教、風土が異なる国、地域の仲間と一緒に行動するには、お互いを理解し尊重しなくてはなりません。それが「国際理解」であり「世界理解」であり、「国際奉仕」の基本であります。その後、それを基盤に「ロータリー基金」が設立され、1928年には正式に「ロータリー財団」が設けられます。

日本では、1917年に三井銀行重役であった米山梅吉がアメリカを訪れた際に、ガイド役であった福島喜三次によりロータリークラブの存在を知ります。福島はそのとき既にダラスのロータリー会員でした。1920年、転勤で日本に戻った福島は、アルバート・アダムス国際ロータリークラブ連合会長から勧められ、米山の協力のもと同年、東京ロータリークラブを立ち上げ、会長 米山梅吉、幹事 福島 喜三次で日本のロータリーの歴史がスタートします。

その後、日本は第二次世界大戦に入ります。その影響で1940年脱退、東京ロータリークラブが解散を決定したのは9月1日のことです。当時日本に存在した多くのクラブは別れを惜しみながらも、戦時中クラブ名を変え、例会場を変え、会合を続けたといえます。

戦後まもなく、1947年1月27日のことです。「我々は世界平和を祈って様々な努力をしてきたのにもかか

わらず、2度も大きな戦争が起きてしまった。有能な平和希求の若者を育て世に送り出さないと、再び第三次世界大戦が起こるだろう」と言い残して創立者ポール・ハリスがこの世を去ります。これがきっかけとなり、ロータリー財団奨学金制度など、青少年を育成する活動が始まります。1951年には、日本から緒方貞子がロータリーフェローとしてアメリカに留学し、1990年代10年間に渡り、国連難民高等弁務官として活躍、まさにその使命を果たします。

大まかに歴史についてお話しましたが、「国際奉仕」と「ロータリー財団」は表裏一体のものであることがご理解いただけたでしょうか。国際奉仕活動の今までの事例や実施クラブの取り組みかた、成果などのご報告をホームページに詳しく掲載しております。新設した地区国際奉仕委員会独自のホームページをご活用ください。

ニコニコレポート 榎木 永一郎 副会場監督

地区国際奉仕委員長 石塚 勝様 (川崎鷺沼 RC)

本日は、卓話の機会をいただきまして、大変ありがとうございます。よろしく願いいたします。

川崎中原 RC 市川 功一様

いつもお世話になります。今日は当クラブが協賛する東日本大震災のチャリティーコンサートのPRに参りました。

大塚 正一会長、帯谷 昌充 幹事

地区国際奉仕委員長 石塚 勝様、本日の卓話、よろしく願いいたします。

武田 信平 君

昨夜、フロンターレはACL予選リーグ第2戦、韓国ウルサンと敵地にて戦い、1対2で敗れました。不用意なプレーから2点を失いました。攻撃ではまだまだ連携プレーの息が合っていません。来る25日はJリーグ開幕戦、ジュビロ磐田との試合がアウェーで行われます。しっかり立て直してもらいたいですね。

川野 正久 君

石塚さんの卓話、楽しみにしております。

小澤 秀昭 君

地区国際奉仕委員長、本日はよろしく願いいたします。

戸川 俊雄 君、世良 俊昭 君、宮崎 秀樹 君、洪 征治 君

石塚 勝様の卓話、楽しみにしています。

親睦委員会：谷口 一成 君、小林 美和 君

石塚 地区国際奉仕委員長、本日の卓話、よろしく願いいたします。また、石塚さん、お誕生日おめでとうございます。

波木 井輝 昭 君、朝山 浩 君、相良 久征 君、クルーズ 由美子 君

石塚 地区国際奉仕委員長、本日の卓話、楽しみにしています。市川 功一様、都倉 直子様、ようこそいらっしやいました。

国際奉仕委員会：小林 美和 君

地区国際奉仕委員長 石塚様、本日のクラブフォーラムでの卓話、よろしく願いいたします。